

ビワ生育情報

千葉県
平成26年4月号

平成26年3月の気象

平成26年3月の半旬別の気象は表1に示した。平均気温は第2半旬を除く5半旬で平年を上回った。月平均気温は9.7℃で、平年より0.5℃高く、気温が高かった前年より2.1℃低かった。

第2半旬及び第3半旬で氷点下を下回り、月合計は4日であった。

最低極温は第1、第4～第6半旬で平年を上回ったが、第2、第3半旬では平年を下回った。3月11日には-2.6℃を記録したため、一部では寒害があったと思われる。

降水量は第2、第5及び第6半旬で平年を下回り、第5半旬には降雨がなかった。月合計は167mmで、平年より15mm(8%)少なく、降雨が少なかった前年より98mm(142%)多かった。

日照時間は第2～第6半旬で平年を上回った。月合計は180時間で、平年より26時間(17%)多く、前年より9時間(5%)少なかった。

表1 平成26年3月の気象 (暖地園芸研究所)

半旬	気温(℃)			氷点下日数(日)			最低極温(℃)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	7.8	7.6	8.4	0	0.9	0	0.2	0.1	1.2
2	4.6	8.4	14.1	3	0.8	0	-1.5	0.5	3.9
3	9.3	8.8	10.3	1	0.7	0	-2.6	0.8	0.8
4	11.0	9.7	15.1	0	0.4	0	3.4	1.9	3.9
5	10.6	9.8	11.8	0	0.3	0	3.0	2.3	6.3
6	14.2	10.5	11.2	0	0.2	0	5.4	2.5	3.9
平均/計/最低値	9.7	9.2	11.8	4	3.2	0	-2.6	-1.4*	0.8

*：3月の過去39年間の最低極温の平均値

半旬	降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	72	26	9	9	26	23
2	1	23	0	30	26	47
3	36	27	12	30	25	33
4	35	22	28	30	24	38
5	0	46	7	51	24	34
6	23	39	14	30	29	14
合計	167	182	69	180	154	189

5月の作業 (果実の発育は次ページ)

ビワの袋掛けも終わり、展葉の終わった新葉は濃緑色になり、果実は成熟期を迎える。収穫の最盛期は6月であるが、5月からは早生品種の収穫が始まる。

収穫

早いところでは早生品種の収穫が5月の中旬頃から始まるので、収穫前にモノレールや索道、道路を整備するとともに園内の草を払っておき、収穫道具や出荷用資材を揃えてお

く。1樹の収穫は2～3回に分けて完熟果実を収穫するが、特に1回目の初収穫では未熟果が混入しないように果皮色をよく確認して収穫する。

台木の養成

ビワの苗木は、生産しているところが少ないので、自家生産しなければならない。収穫した果実から種子を採り、種まきして、台木用の実生苗を確保しておく。「楠」の実生は、播種後の生長が早く、根張りが良いので、台木に適している。台木は播種後2、3年間養成して、幹が直径1.5cm程度の太さになったものを用いる。実生苗は、降雨によってごま色斑点病が伝搬し枯死するので、ビニールで屋根掛けして雨水を遮断する必要がある。

果実の発育

4月1日現在のビワの果径は表2に示した。横径は「楠」が1.38cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ1.36cm、1.29cmであった。3品種共に平年より13～17%小さく、前年に比べ「楠」及び「田中」は5%小さかったが、「大房」は前年並みだった。

縦径は「楠」が1.80cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ1.81cm、1.76cmであった。3品種共に平年より8～11%小さく、前年に比べ「楠」は11%小さく、「大房」及び「田中」はほぼ前年並みだった。

果形指数は「楠」が0.77、「大房」及び「田中」は3地区の平均で見るとそれぞれ0.75、0.73であった。本年の果形指数は平年より低く、縦長の傾向である。

4月時点の果実の発育は、3品種共に平年より遅れているが、地区ごとで発育の差がみられ、同一樹体内でも同様であった。本年は着花房率が高く、寒害を被った幼果は少なかったため、着果量は平年より多い。過着果による樹勢の衰えがみられた場合は、予備枝を作るため、果房数を3～4割減らすように整理する。

クワゴマダラヒトリの発生は平年よりやや少なく、果実の被害程度も平年よりやや少ない。果樹カメムシ類の越冬量は、南房総市ほか県南地域で平年よりやや多いため、今後の発生予察情報を参考に参考にする。カメムシの発生の多い園では、4月以降ビワ園への飛来に注意を要し、薬剤防除に取り組めるように準備を進める。防除に際しては千葉県農作物病害虫雑草防除指針に従う。

表2 果実の発育（4月1日の果径）

品 種	調査地	横径(cm)			縦径(cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	暖地園研	1.38	1.59	1.46	1.80	1.99	2.02	0.77	0.80	0.72
	青 木	1.31	1.60	1.37	1.73	1.98	1.74	0.76	0.80	0.79
	大 房	1.44	1.65	1.40	1.92	2.06	1.82	0.75	0.80	0.77
	暖地園研	1.33	1.50	1.32	1.79	1.90	1.78	0.75	0.79	0.74
	平 均	1.36	1.57	1.36	1.81	1.96	1.78	0.75	0.80	0.77
田 中	青 木	1.22	1.59	1.34	1.80	2.00	1.73	0.68	0.80	0.77
	南 無 谷	1.16	1.54	1.28	1.57	2.01	1.71	0.74	0.76	0.75
	暖地園研	1.49	1.51	1.46	1.91	1.95	1.90	0.78	0.77	0.77
	平 均	1.29	1.55	1.36	1.76	1.97	1.78	0.73	0.78	0.76

果形指数：横径／縦径

平年：1986年～2013年の28年間の平均。ただし南無谷は1998年～2013年の15年間の平均。

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nousui/nourinsuisan/nourinsuisan.html>